

## テロ対策、大規模災害対策等の推進について



警 察 本 部



# 目 次

## 第1 テロ対策の推進

1	テロ情勢	5
2	我が国に対する国際テロの脅威	5
3	基本方針	6
4	各種対策	
(1)	情報収集と捜査	6
(2)	水際対策	6
(3)	警戒警備の強化	6
(4)	小型無人機対策	7
(5)	事案対処能力の強化	7
(6)	官民連携	8
(7)	情報発信	11

## 第2 大規模災害対策等の推進

1	大規模災害発生時における警察の任務	12
2	大規模災害の教訓を踏まえた警察の対応	
(1)	広域緊急援助隊の設置	12
(2)	警察災害派遣隊の設置	12
3	兵庫県警察の主な災害警備	
(1)	災害警備実施回数	13
(2)	近年の主な災害警備	13
4	災害警備諸対策の推進	
(1)	初動体制の早期確立	14
(2)	災害対処能力の向上	15
(3)	装備資機材の整備等	16
5	民間との連携協力体制の構築	17
6	伝承教養	17
7	情報発信	17



## 第1 テロ対策の推進

### 1 テロ情勢

令和3年中、右翼や極左暴力集団による「テロ、ゲリラ」事件の発生はなかったが、右翼は時局問題等を捉えた街頭宣伝活動等を行っており、今後も、内外の諸問題に敏感に反応し、政府や関係諸国等に対する抗議活動を執ように行うものとみられ、その過程で違法行為の発生が懸念される。一方、極左暴力集団についても、その時々闘争課題に関するデモ等に取り組んでおり、今後も情勢次第では、「テロ、ゲリラ」事件を引き起こすおそれがある。

さらに、最近の国際テロ情勢については、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況においても、I S I Lやアル・カーイダ等の過激思想に影響を受けた者によるテロ事件が世界各地で発生していることに加え、イラク及びシリアにおける外国人戦闘員やその家族の多くが同地を離れ、帰国又は移動により、同人らが母国又は第三国でテロを行う危険性が指摘されるなど、依然として厳しい状況にある。

また、I S I Lは、テロを実行する際、爆発物や銃器が入手できない場合には、ナイフや車両等を用いてテロを敢行するよう呼び掛けており、今後もこれらに呼応したテロの発生が懸念される。

### 2 我が国に対する国際テロの脅威

2016（平成28）年7月に発生したバングラデシュ・ダッカにおける襲撃テロ事件、2019（平成31）年4月に発生したスリランカにおける連続爆弾テロ事件等、世界各地において、邦人や我が国の権益がテロの標的となる事案が現実には発生しているほか、I S I L等の過激派組織は、その声明等において、我が国や邦人をテロの標的として繰り返し名指ししており、我が国に対するテロの脅威は予断を許さない状況にある。

近年、海外において邦人が被害に遭った主なテロ事件等（平成25年以降）



### 3 基本方針

厳しいテロ情勢の中、2022（令和4）年11月には「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会」が明石市内で行われる予定であるほか、2023（令和5）年に開催予定の「G7サミット」では、関係閣僚会合について、姫路市での開催に向け兵庫県・姫路市・姫路商工会議所が連携して誘致に取り組んでいる。また、2025（令和7）年には大阪府において「2025年日本国万国博覧会」（2025大阪・関西万博）、さらに2026（令和8）年には延期されている「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等の大規模イベントが開催される予定である。

このような大規模なイベントは、世界的に大きな注目を集めることから、テロの格好の標的となり得るため、県警察ではテロの未然防止に向けて、官民連携、水際対策、警戒警備等のテロ対策を強力に推進している。

### 4 各種対策

#### (1) 情報収集と捜査

テロの未然防止を図るためには、幅広い情報を収集して的確に分析することが不可欠である。テロは極めて秘匿性の高い行為であり、関連情報のほとんどは断片的なものであることから、情報の蓄積と総合的な分析が求められる。

県警察では、情報の収集・分析を行い、その結果を警戒警備等諸対策に活用するとともに、不審点があれば真相を解明するための諸活動を徹底している。

#### (2) 水際対策

県下の5つの国際港湾（神戸港、尼崎西宮芦屋港、東播磨港、姫路港、相生港）において、海上保安庁、出入国在留管理庁、税関等と連携し、テロ対策合同訓練や入港する船舶に対する警戒等を実施している。

また、日本海側の港においても、関係機関と連携し、合同訓練を実施するなど、対処能力の向上を図っている。



【姫路港におけるテロ対策合同訓練】

#### (3) 警戒警備の強化

繁華街・ショッピングセンター等の「ソフトターゲット」や駅、空港等の公共交通機関、外国公館等の重要施設において、制服警察官によるパトロールや、部隊を配置した警戒警備を強化し、テロの未然防止を図っている。

また、状況に応じて、会場等に至る経路に警察車両やイベント主催者の車両、資機材を配置するなどして、車両による突入の防止を図っている。



【警察車両を配置したテロ防止対策】  
(神戸まつり)



#### (4) 小型無人機対策

警察では、「重要施設の周辺地域上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律」等を適切に運用するなど、小型無人機、いわゆる「ドローン等」を使用したテロ等の未然防止に努めている。

具体的には、重要施設等の周辺において上空の警戒を実施することにより不審な小型無人機の飛行や操縦者の発見に努めたり、違法行為を企図した操縦者が利用するおそれのあるビルの屋上や敷地等の管理者に対して、出入口の施錠の徹底を働き掛けるなどの対策を進めている。また、資機材を有効に活用するなどして、飛行している小型無人機の早期発見に努めるほか、違法に飛行している小型無人機を発見した場合には、危害発生を防止することとしている。



【警戒員による高所警戒】

#### (5) 事案対処能力の強化

##### ア 銃器対策部隊

銃器を使用した事案対応のために、警備部機動隊に銃器対策部隊を設置している。同部隊には、サブマシンガン、ライフル銃、防弾衣等が配備されており、銃器等を使用した事案への対処を主たる任務としている。



【関係機関等との合同訓練（銃器対策）】

##### イ 爆発物対応専門部隊

爆発物を使用した事案対応のために、警備部機動隊に爆発物対応専門部隊を設置している。同部隊には、X線透視装置、爆発物収納筒、防護服、防爆盾等が配備されており、迅速かつ的確に爆発物の現場処理に当たり、爆発物による被害の発生を防止することを任務としている。



【関係機関等との合同訓練（爆発物処理）】

## ウ NBCテロ対策部隊

核物質や化学物質、生物剤を使用したNBCテロ対応のために、警備部機動隊にNBCテロ対策部隊を設置している。同部隊は、原因物質の検知、除去、被害者の救出救助、避難誘導等に当たることを任務としている。



【NBCテロ対応訓練】

## (6) 官民連携

### ア テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議の活用

#### (7) 設立目的等

平成29年4月、ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を見据え、官民一体のテロ対策を推進するために設立した。


#### (4) 活動状況

参画機関・団体に対して、「テロ対策兵庫パートナーシップ通信」を发出しているほか、有識者や警察本部員による講演を行い、自主警備の強化に活用できる情報を提供し、テロ対策の強化や対応力の向上を促している。

令和3年10月に、東京都内を走る京王電鉄の車内において、乗客の男が刃物で客を切りつけ、床に液体を撒いて放火した事件を踏まえ、同年12月、神戸市内において関係機関と合同で対処訓練を実施した。



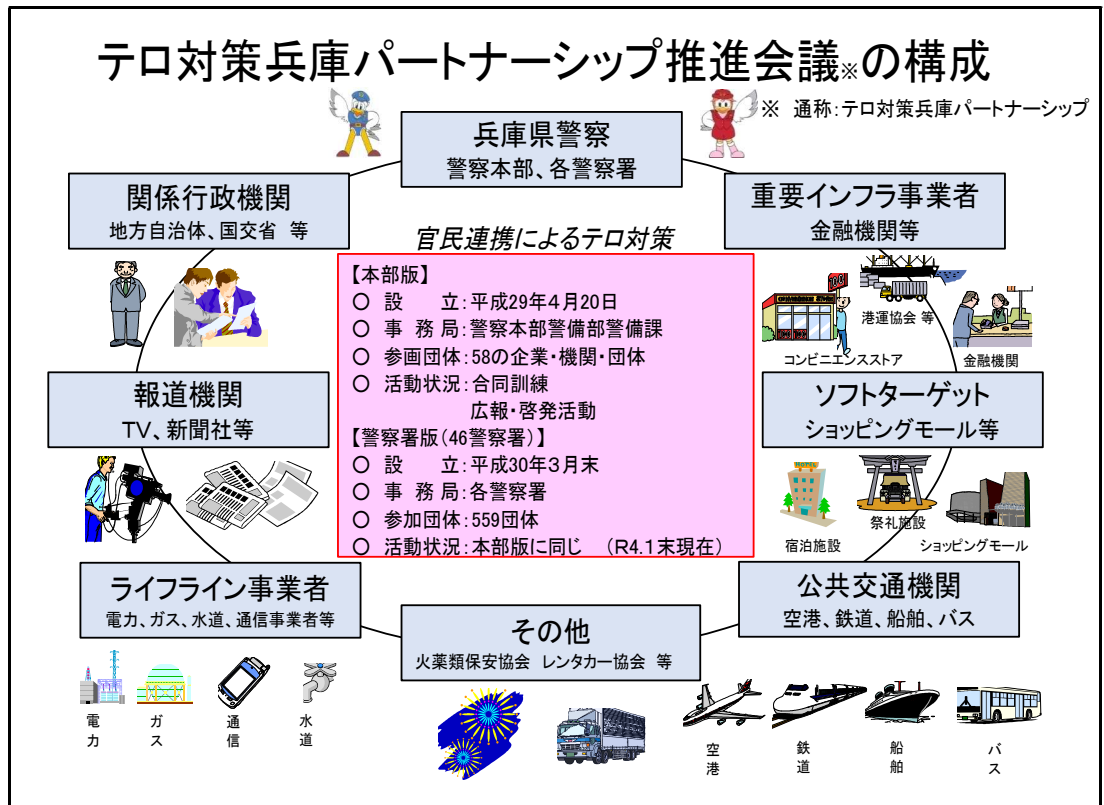
【関係機関との合同訓練】

テロ対策兵庫パートナーシップ通信 【NO. 43】	令和3年12月8日 兵庫県警察本部
<b>【神戸市交通局等との合同訓練の実施】</b> <b>～京王線における傷害・放火事件を踏まえて対応要領を検証～</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 12月7日(火)、兵庫県警察と神戸市交通局、同消防局は合同で地下鉄車両内における事案対応訓練を行いました。</li> <li>○ 訓練は「走行中の神戸市営地下鉄車内で、男性が乗客を刃物で切りつけ、可燃性の液体を撒いて放火した」との想定で               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地下鉄職員による110番通報 / 乗客の避難誘導</li> <li>・ 警察による被疑者の制圧検挙</li> <li>・ 救急隊による負傷者の救護、消防隊による消火活動</li> </ul> </li> </ul> <p>を行い、関係機関の連携要領等を確認しました。(走行中の地下鉄車両を使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 訓練は10月31日発生の「京王線事件(※)」を踏まえ、「テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議」の参画団体である「神戸市営地下鉄」等と合同で行ったものです。</li> <li>※ 東京都調布市内を走行中の「京王線」車内で、乗客の男性が刃物を使用し他の乗客を切りつけ、床に液体を撒いて放火した事件</li> <li>○ 兵庫県警察では「テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議」の参画団体等との合同訓練を推進していく予定ですので、<b>合同訓練の希望があれば事務局まで連絡をお願いします。</b></li> </ul>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 事件の発生</div> <div style="text-align: center;"> 地下鉄乗務員による対応</div> <div style="text-align: center;"> 警察中の鉄道警察隊員による対応</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 警察警察隊員による検挙</div> <div style="text-align: center;"> 消防隊による消火活動</div> <div style="text-align: center;"> 負傷者の救護活動</div> </div>	
 <b>テロを許さない社会の実現 / 官民連携のテロ対応</b> 作成：兵庫県警察本部警備部警備課	



(ウ) 警察署版テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議

兵庫県下46警察署において、「警察署版テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議」を設置しており、県下において官民一体のテロ対策が斉一に行われる体制を構築している。各警察署において、警察署版テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議を活用してテロ対策訓練等を実施し、県下各地域におけるテロ対処能力の向上を図っている。



イ 爆発物の原料となり得る化学物質の販売事業者等との連携

薬局等の対象事業者等への個別訪問を継続的に行い、販売時における本人確認の徹底、盗難防止等の保管管理の強化、不審情報の通報等を要請しているほか、実際に接客に当たる従業員に対し、不審購入者の来店や電話による問合せがあった場合を想定したロールプレイング型訓練を行うなど協力体制を構築している。



【薬局におけるロールプレイング型訓練】

## 〔兵庫県爆発物原料取扱事業者等連絡協議会〕

### ○ 設立目的等

平成22年2月、警察と爆発物の原料となり得る化学物質等の販売事業所や関係行政機関等との連絡体制を確保し、爆発物を使用したテロ事案等を未然に防止するとともに、同種事案が発生した場合の被害拡大防止及び迅速・的確な事件捜査の実現に資することを目的に設立した。

### ○ 活動状況

テロ情勢等を紹介した「協議会ニュース」を不定期に発行しているほか、毎年、総会を開催している。令和2年2月に開催した総会では、科学捜査研究所員による爆発物に関連した講演や、タレントがコント形式で不審者対応要領を実演するなど、事業者等への啓発、情報共有及び連携強化を図った。

なお、昨年及び本年の総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、集合形式の開催を控え、文書資料により、事業者等との情報共有及び連携強化を図っている。

兵庫県爆発物原料取扱事業者等連絡協議会 令和4年2月28日 協議会事務局

# 協議会 News No. 49

## 警察への通報を迷っていませんか？

爆発物の原料となり得る化学物質（指定11品目）  
 硫酸、塩酸、過酸化水素、硝酸、塩素酸カリウム、塩素酸ナトリウム、尿素、硝酸アンモニウム、アセトン、ヘキサミン、硝酸カリウム

こんなことで警察に通報していいのかなあ？

110番又は最寄りの警察署に通報してください！！

事業者の皆様から頂いた過去の通報事例

- これまでの購入歴からみて突然購入量が増えた。
- 通常、一般人が使用しない硝酸について、在庫や取り寄せ販売について問い合わせがあった。
- 初めて見るお客さんが塩酸500ml×3を購入。
- 11品目の内、2種類を実験目的で同時購入。
- 同じ人が同じ理由で短期間に複数回購入。
- 一般人から底石の掃除用として塩酸500ml×10本の注文を受けた。
- 身分確認をしようとしたところ、「(品物を)早く送れ」と激高された。
- 「業務で使用するため」と硫酸の購入をしつこく申し込み。

事業者の皆様からの通報により解決した事件があります。「これくらいで…」という気遣いをせず、通報をお願いします。

### 不審購入の着眼点

- 購入目的が曖昧
- インターネットによる大量注文
- 初めての来店で大量の薬品を注文
- 電話等で何度も在庫確認
- 複数の薬品を同時に又は連続して購入・身分確認の提示を渋る
- 職業と購入薬品の関連性が全くない

兵庫 県 警 察 Hyogo Prefectural Police 外事課 国際テロリズム対策室 Tell 078-341-7441 (内線5818)

「テロは絶対許さない」500名以上参加の誓い

監視カメラもご覧ください

【協議会ニュース】

### 【参画機関、団体、事業者（計60機関・団体）】

関 係 機 関	対 象
行 政 機 関	兵庫県、保健所等
教 育 機 関	大学等
医 療 関 係 団 体	薬剤師会、薬品小売商業組合等
農 業 関 係 団 体	J A、肥料商連合会等
薬局・薬品等原料小売店	ホームセンター、スーパー等

### ウ 幅広い事業者との連携

旅館、インターネットカフェ、レンタカー、賃貸マンション、住宅宿泊事業等の事業を営む各事業者への個別訪問を継続的に行い、利用者に対する本人確認の徹底や不審情報の通報等を要請するなど、協力体制の確保に努めている。

## エ 外国人コミュニティとの連携強化

テロリストが国内の外国人コミュニティを悪用し、または国内に居住する外国人が生活上の困難や日本社会からの孤立等に直面してテロや犯罪に関与することを防止するため、市町等と協力し、防犯講習、交通安全講習、外国人運転者対策等の警察活動を通じて外国人コミュニティとの連携強化を図っている。

新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえ、開催の時期及び方法を慎重に判断し、感染対策を徹底しながら行っている。開催を見送る場合には、資料（チラシ等）配付により、防犯等の注意喚起を行うなどの代替措置を執っている。



【外国人実習生に対する交通安全講習】

**緊急時には110番!**

110番は英語、中国語、韓国語、ベトナム語等で通報できます。外国語の話せる警察官が対応しますので、警察官の質問に、ゆっくり、はっきりとお答えください。

① じけんですか？じこですか？  
どろぼう、こうつうじこ、けんか など

② どんなほんにんか？  
せいべつ、にんずう、にんそう、ふくさう、にげたしゅだん、ほうこう

③ どこで？  
じゅうしょ、ちくひょうとなるたてものこうさてんめい、ぎゃり など

④ いまはどうなっているか？  
じけん、じこのようす、ひがいじょうきょう、けがのうむなど

⑤ いつごろか？  
ちふんまえとか、だいたいのじかんを

⑥ あなたについて  
あなたのじゅうしょ、しめい、でんわばんごうは

警察官が質問をしている間に、別の警察官が無線で警察署やパトカーに指令していますので、落ち着いて、ゆっくりと話してください。

**兵庫県警察本部**

【外国人コミュニティ・管理者用のチラシ】

**Call 110 in an Emergency**

You can call 110 and talk to police officers in English. Since they talk to you through an interpreter, please answer their questions slowly and clearly.

① Q: Is it an incident or an accident?  
A: A robbery, a traffic accident, a fight, etc.

② Q: Can you describe the suspect?  
A: Their sex, number, facial features, clothes, escape measures and directions.

③ Q: Where did it happen?  
A: The address, landmarks, intersections, distance, etc.

④ Q: What is the present situation?  
A: Details of the accident/incident, damages, injured or not, etc.

⑤ Q: When did it happen?  
A: The approximate time, such as "five minutes ago".

⑥ Q: Can you tell me about yourself?  
A: Your address, name and phone number.

While officers are questioning you, others are commanding the police station or patrol cars by radio to handle the case. Please answer their questions calmly and slowly.

**Hyogo Prefectural Police**

## (7) 情報発信

ホームページやツイッター等のSNSを活用し、各種訓練等施策の取組状況について紹介するとともに、不審情報の通報について広く協力を呼び掛けている。



## 第2 大規模災害対策等の推進

### 1 大規模災害発生時における警察の任務

警察は、大規模災害が発生した場合、災害警備体制を確立し、情報の収集・分析、避難誘導、救出救助活動、緊急交通路の確保、検視、行方不明者の捜索及び治安の維持に当たること等を任務としている。

### 2 大規模災害の教訓を踏まえた警察の対応

#### (1) 広域緊急援助隊の設置

阪神・淡路大震災を教訓に大規模災害時に都道府県の枠を超えて広域的に即応でき、かつ、高度な救出救助能力と自活能力を有する災害対策の専門部隊として、平成7年6月、全国の機動隊員、交通機動隊員等からなる「広域緊急援助隊」が設置された。

さらに、平成17年4月広域緊急援助隊に極めて高度な救出救助能力を有する「特別救助班（略称：P-R E X (Police Team of Rescue Expert s))」が、12都道府県警察に設置された。

(令和3年12月末現在：16都道府県に設置)



【兵庫県警察広域緊急援助隊発隊式】

#### (2) 警察災害派遣隊の設置

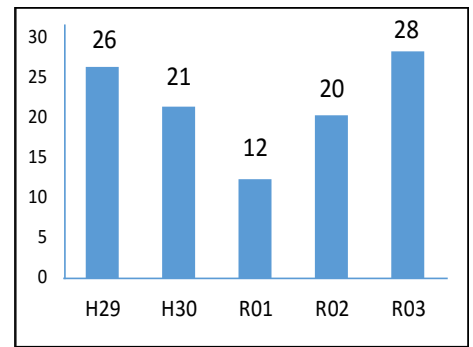
東日本大震災に際し、津波や原子力災害等への対応のため、長期間にわたり大規模な部隊派遣を行った経験から、災害発生時に直ちに被災地へ派遣する部隊として、広域緊急援助隊を中心とする即応部隊を全国約6,400人体制から約1万人体制に増強するとともに、発災から一定期間（概ね2週間）が経過して以降、継続的に様々な警察活動を行う一般部隊を創設し、両部隊からなる「警察災害派遣隊」が設置された。



### 3 兵庫県警察の主な災害警備

#### (1) 災害警備実施回数

県内で気象警報が発表された場合や、地震が観測された場合のほか、県外で大規模な被害が発生し、又は発生のおそれがある場合等に、災害警備本部等を設置して、災害警備体制を確立している。



【近年の災害警備実施回数】

#### (2) 近年の主な災害警備

##### ア 平成30年7月豪雨

平成30年6月28日以降、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、県下においても、大雨特別警報が発表され、土砂崩れや倒木等により、死者2人、重軽傷者11人等の被害が発生した。

警察本部及び全警察署に災害警備本部等を設置し、指揮体制を確立した上で、救出救助活動、行方不明者の捜索活動などの災害警備を実施した。



【土砂災害現場での活動状況（奥州市）】

##### イ 令和2年7月豪雨

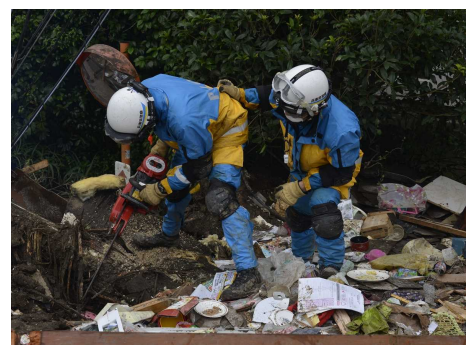
令和2年7月3日以降、国内の広い範囲で記録的な大雨となり、県下においても、断続的に警報が発表された。

警察本部及び関係警察署に災害警備対策室を設置し、指揮体制を確立した上で、110番通報への対応、交通規制などの災害警備を実施した。

##### ウ 県外における災害警備

平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨により、熊本県に広域緊急援助隊等を派遣し、救出救助活動、行方不明者の捜索活動、被災地パトロール等を実施した。

令和3年7月静岡県熱海市で発生した土石流災害により、広域緊急援助隊を派遣し、行方不明者の捜索活動等を実施した。



【被災地域での捜索状況（静岡県熱海市）】



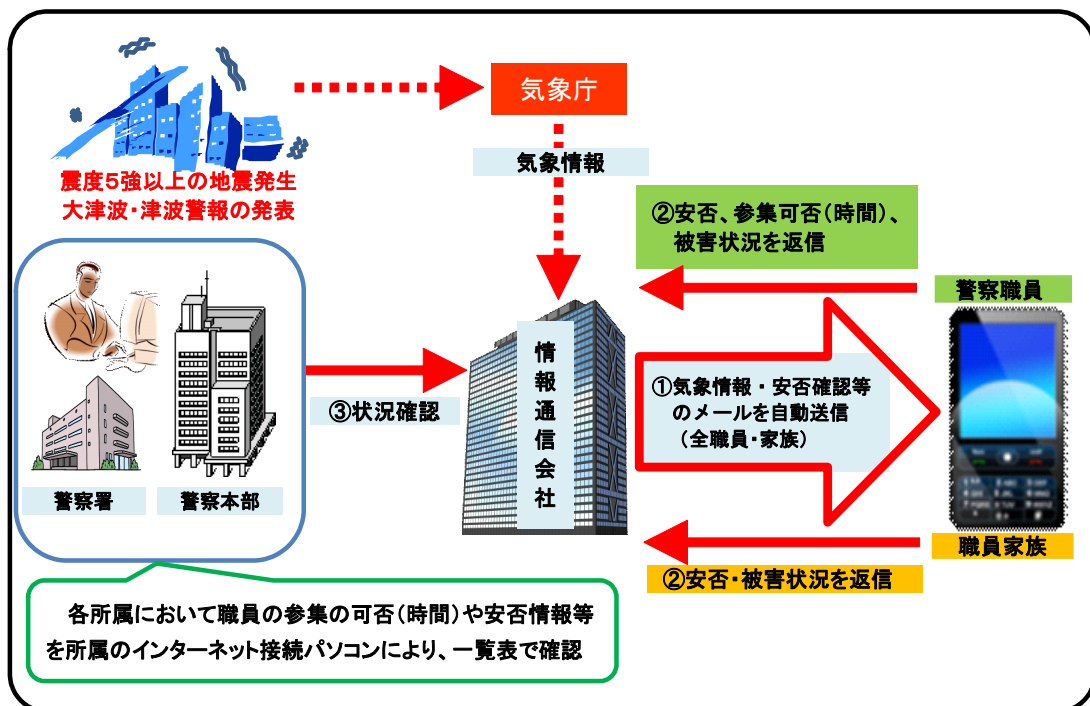
## 4 災害警備諸対策の推進

### (1) 初動体制の早期確立

#### ア 兵庫県警察災害時職員緊急参集システムの運用

県内において一定規模の地震が観測された場合等に、予めシステムに登録している職員に対して、安否情報や参集の可否等の回答を求めるメールを自動送信し、職員が返信することで、所属での情報集約が可能となるシステムを運用し、迅速かつ的確な災害警備体制の確立を図っている。

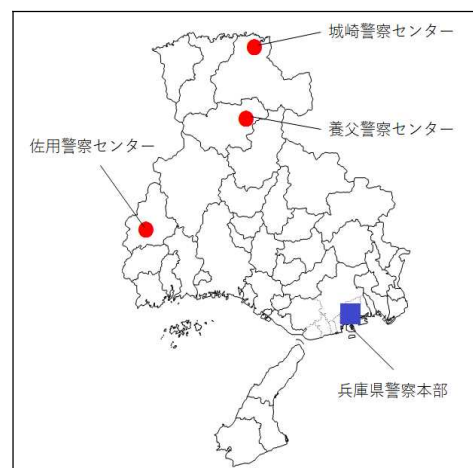
また、登録している家族に対しても、メールを自動送信し、安否情報等を確認している。



【兵庫県警察災害時職員緊急参集システム (イメージ図)】

#### イ 被災地警察署への支援

大規模災害発生時に被災地警察署の指揮機能や初期対応の支援を行うため、指揮支援隊や災害地域支援チームを設置し、部隊の前進待機等を可能とする災害対策拠点を新設したほか、気象情報から被害の発生が予想される地域には機動隊等を先制的に前進配置するなど、支援体制を強化している。



【災害対策拠点の設置場所】

## (2) 災害対処能力の向上

### ア 災害警備訓練の実施

#### (7) 兵庫県警察総合災害警備訓練

南海トラフ地震等の大規模災害の発生に備え、広域緊急援助隊や第二機動隊等の救出救助技能の向上、各部隊間の連携強化等を目的とした県警主催の総合災害警備訓練を平成28年度から実施している。



【土砂災害現場からの救出救助訓練】

#### (イ) DR (Disaster Remember) 戦略訓練

過去に甚大な被害が発生した地域において、関係機関や地域住民等と連携した合同訓練を実施することにより、災害の風化を防止するとともに、県民に対して防災意識の醸成や災害警備活動への協力等の確保を目的とした「DR戦略訓練」を平成30年度から実施している。



【倒壊家屋からの救出救助訓練】

#### (ウ) 兵庫県合同防災訓練

関係機関・団体、自主防災組織等が相互に連携し、官民一体となった実戦的訓練を実施することにより、防災意識の更なる高揚を促し、地域防災力の向上に資することを目的とした兵庫県主催の地域合同防災訓練に毎年参加している。



【車両からの救出救助訓練】

### イ 兵庫県警察フェニックスレスキュー競技大会の開催

南海トラフ地震等の大規模災害が発生した際、被災現場で救出救助に当たる警察署警察官の災害対処能力の底上げを図るため、ジャッキ、エンジンカッター等警察署に配備されている災害用装備資機材を活用した救出救助に関する技能を警察署対抗で競う「兵庫県警察フェニックスレスキュー競技大会」を平成30年度から開催している。

同競技大会は県民に広く公開し、住民ふれあい型の防災イベントも同時に実施することで、県民の災害警備活動に対する理解の確保と県民の防災意識の高揚を促している。



【第1回競技大会の状況】

### ウ 巡回指導等による技術指導

平成31年3月、災害対策課に、災害警備に係る救出救助技能を指導する係を設置し、警察署への巡回指導や警察学校生に対する訓練指導、教養資料の発出など、警察職員全般の災害対処能力の底上げを図っている。



【女性警察官の訓練状況】

### (3) 装備資機材の整備等

#### ア 災害用装備資機材の拡充・整備

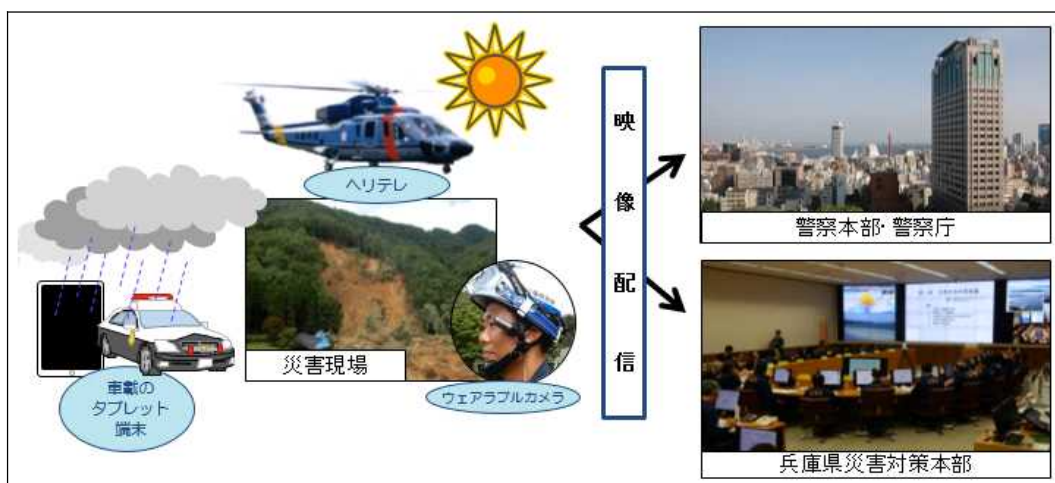
阪神・淡路大震災以降、全警察署にチェーンソー、エンジンカッター、エアージャッキ等を、全交番・駐在所にレスキューユニットを整備しているところであるが、平成30年度から、取り扱いや運搬が容易で多機能な「災害用救助工具セット」を警察署等に順次整備している。



【災害用救助工具セット】

#### イ 映像情報配信機能の強化

平成29年度に、「総合的画像情報伝送システム（ヘリテレシステム）」をアナログ式からデジタル式に更新したほか、令和元年度に、ウェアラブルカメラ、パトカー車載のタブレット端末等で撮影した映像を兵庫県警察本部のほか、警察庁及び兵庫県災害対策本部にも配信することを可能とする回線を整備した。



【映像情報配信機能の強化（イメージ図）】



## 5 民間との連携協力体制の構築

「兵庫県警察災害時等警察活動協力員」、「災害モニター」及び「兵庫県警察防災学生ボランティア」を委嘱し、警察活動を支援する体制を確立している。

また、民間の事業者等と装備資機材の供出等の業務支援について協定を締結し、災害時における協力体制を構築している。



【兵庫県警察防災学生ボランティアの活動】

## 6 伝承教養

阪神・淡路大震災の災害警備を経験していない警察職員が7割を超え、災害警備に関する伝承は、県警察の課題となっていることから、「語り部制度」を設けて、阪神・淡路大震災のほか、東日本大震災での災害警備体験等を併せて警察署等において伝承教養を実施している。



【警察学校における伝承教養】

## 7 情報発信

ホームページやツイッター等SNSを活用し、災害警備や各種訓練等の取組状況について紹介するとともに、大学等において講演を実施するなど、県民の防災意識の高揚を促している。



【県警ホームページの災害対策に関するページ】



【大学における講演】



【県警SNSの災害対策に関する投稿】